

成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業 フォローアップ要項

令和5年9月12日

成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業委員会決定

1. 内容

事業目的の着実な達成に資するため、本事業に採択したすべてのプログラムについて、実施状況及び補助期間終了後の継続的なリカレント教育実施に向けた取組状況を適切に把握・確認するとともに、今後の取組を後押しするために必要な指導・助言を行う。

2. 実施体制

- (1) フォローアップは、成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業委員会（以下「委員会」という。）に置かれたメニュー毎の専門委員会で行う。
- (2) 専門委員会は、採択プログラムごとに、フォローアップ担当委員（以下「担当委員」という。）として、専門委員を割り当てる。

3. 実施方法

(1) 実施手順

<大学等>

大学等は、プログラムの実施期間後半に当たる令和5年12月1日時点の状況を委員会に報告するため、採択プログラムごとに実施状況報告書を作成し、委員会に提出する。

<担当委員>

- 1) 担当委員は、以下(2)に示す観点に基づき、事業計画が適正に実施されているかどうかを提出のあった実施状況報告書で確認する。
- 2) 担当委員は、実施状況報告書の確認後に委員フォローアップ報告書（別紙2）を作成し、各メニューの専門委員会に提出する。

<専門委員会>

各メニューの専門委員会は、担当委員から提出のあった委員フォローアップ報告書について、その内容を確認し、必要に応じて意見等を付した上で、委員会に報告する。

<委員会>

委員会は、各メニューの専門委員会からの報告を受け、必要に応じて意見等を付した上でフォローアップ結果を大学等に開示する。

(2) フォローアップの観点

- ・プログラムは当初の構想・計画に沿って順調に進捗しているか。
- ・プログラムの実施・運営体制は適切に構築されているか。
- ・採択時に付された留意事項等への対応はなされているか。
- ・当初の構想・計画において提案された目的や成果の達成が期待できるものとなっているか。
- ・学内規程の整備、組織体制の整備、継続実施に向けた資金計画の策定など、補助期間終了後

も継続してリカレント教育プログラムを提供する目途が立っているか。

- ・【メニューDのみ】大学院のリカレント教育に係る組織内改革が、事業計画に基づき着実に進捗しているか。
- ・【メニューDのみ】構築・パイロット実施されたプログラムを基とするリカレント教育学位プログラムに関し、補助期間終了後の構築が実現可能性の高いものとなっているか。

(3) その他

- ・フォローアップの実施に当たっては、大学等、担当委員の過度の負担とならないように配慮する。

4. その他

(1) 公表等

- 1) 各大学等の作成する実施状況報告書（公表部分）については、日本学術振興会ホームページにおいて公表する。
- 2) 委員及び専門委員の氏名等は、「委員会の審議内容等の取扱いについて」（令和5年4月26日 成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業委員会決定）に則り、公表することとする。

(2) 利害関係者の排除

大学等に利害関係のある委員は、当該大学等のフォローアップを行わないものとする。

(利害関係者とみなされる場合の例)

- ・委員及びが現在所属し、又は3年以内に所属していた大学等に関するもの
- ・その他委員が中立・公正に審査を行うことが困難であると判断されるもの

委員は上記に留意し、利益相反の事実あるいはその可能性がある場合には速やかに事務局に申し出るとともに、当該大学等についてのフォローアップを行わないこととし、会議においても当該事案に関する個別審議については加わらないこととする。

(3) 情報の管理、守秘義務、実施状況報告書の用途制限

- 1) フォローアップの過程で知り得た個人情報及び審議内容に係る情報については外部に漏らしてはならない。
- 2) 委員として取得した情報（実施状況報告書等各種資料を含む。）は、他の情報と区別し、善良な管理者の注意義務をもって管理する。
- 3) 審議に係る資料等は、事業のフォローアップを行うことを目的とするものであり、その目的の範囲内で使用する。

成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業 実施状況報告書

事業責任大学等名			整理番号	
プログラム名				
プログラムの分野				
事業協働機関	参加校			
	企業・経済団体			
	その他			

事業計画責任者	職名・氏名	
事務担当者	職名・氏名	
	電話番号	
	E-Mail	

<概要>

プログラムの概要（※400字以内）

（事業責任大学等名： 、プログラム名： ）

進捗状況の概要（1 ページ以内）

（事業責任大学等名： 、プログラム名： ）

<実施状況>

1. プログラムの実施・運営体制（1ページ以内）

① 学内体制

② 外部機関との連携

2. 留意事項等への対応状況（2 ページ以内）

【改善を要する点】

【対応状況】

（事業責任大学等名： 、プログラム名： ）

3. プログラムの取組内容と成果（1ページ以内）

【定量的な数値目標の進捗状況】

【取組内容・成果】

4. 補助期間終了後の継続したリカレント教育の提供に向けた取組について（1 ページ以内）

（事業責任大学等名： 、プログラム名： ）

5. (メニューDのみ) 大学院のリカレント教育に係る改革の進捗について (1ページ以内)

【取組内容・成果】

① 大学院のリカレント教育に係る組織内改革の進捗状況

② リカレント教育学位プログラムの構築の状況

(事業責任大学等名： 、プログラム名：)

(別紙2)

成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業 委員フォローアップ報告書

成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業委員会

事業責任大学等名		整理番号	
メニュー			
プログラム名			

1. 進捗状況の概要(留意事項への対応状況等)

2. 課題・意見(指導・助言内容等)